

介護保険制度改定に伴う学習会 & 活動交流会



東京都生協連

福祉のまちづくり 杉並・北・練馬

日時：2014年9月25日（木）13:00～16:00

会場：東京都生協連会館 3階

講師：大久保 孝彦氏（八王子保健生協 専務理事）

参加： 8生協、 20名（事務局含む）

目的：2000年に介護保険制度が導入され、5年ごとに見直し・改定を行っていますが、今回は医療と介護の改定が同時に行われる予定です。地域包括ケアについてもお話し頂き、東京都生協連がすすめている「福祉のまちづくり」の取り組みにつなげていくヒントを学びます。

活動交流会は、3つのモデル地区として4年間行ってきた実践報告と交流を軸に、「福祉のまちづくり」の手引きとモデル地区を基本に行った「見守り活動アンケート集計」について報告し、今後の活動に活かします。



地域包括ケアと生活協同組合

講師：大久保 孝彦氏

- 1) 高齢者人口の動向から見えること
- 2) 地域包括ケアってなに？
- 3) 医療と介護、そして生活支援のこれから
- 4) 八王子保健生協のとりくみ
- 5) 福祉のまちづくりに寄せて

「2025年あなたは何歳になっていますか？」から始まり、75歳以上の高齢者が増え、3人に一人は介護、医療が必要な人も増えることから、仕組みの見直しが急務となり、登場したのが「地域包括ケア」です。地域包括ケアとは、住まいを基本とし、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせ、医療・介護と介護予防・生活支援が切れ目なく提供できる地域での体制＝地域づくりの事で、推進するうえで「互助」がポイントとなる。医療と介護がセットで変わり、要支援1・2が保険給付から外れ、新しい総合事業が始まる。国は保険制度をどう維持するか関心を持つ。安心して暮らせる地域づくりを目指し、八王子保健生協独自の計画をすすめている。

【福祉（ふ・く・し）と生活協同組合】

ふつう・くらし・しあわせ（地域に住まう人々が「ふ・く・し」を追求する一つの（確かな）あり方が生活協同組合である。

タイムスケジュール 進行（長島）

13:00 開会挨拶（秋山組織部長）

13:05

介護保険改定・地域包括ケアについて

講師：大久保 孝彦氏

八王子保健生協専務理事

14:45 休憩

14:50

*「福祉のまちづくり」手引書について

*見守り活動アンケート」集計報告

*3つの地域から活動報告

～交流～

16:00 終了

Q：要支援1・2が外されるのは何故？

A：より重度の方へシフト

Q：八王子市の生協間の交流は？

A：情報共有はまだまだと思う。会議には組合員・職員も出てきたらいいと思う



東京都生協連から

「福祉のまちづくり」の手引きについて
見守りアンケート集計報告



3つのモデル地域から活動報告

杉並区：杉並区の見守りの活動と共にすすめ、健康づくりからのびのび3Q体操を作成。まちづくりも3年がたち、地域での見守り活動の様子を知るためにアンケートを行い、一人ひとりの意識の高さを感じた。



北区：杉並区の次にスタートした。北区は水害や木造密集地もあるので、災害ボランティア養成講座を区の防災課と共に行った。見守りの対象者は高齢者だけでなく子育てママも居る事がわかり、交流の場を作った。



練馬区：見守り活動が光が丘地域から全区へ広がった（9/1～）。協定を結んだことで、地域の組合員に説明する時にコミュニケーションが取りやすくなり、見守り活動をすすめている。

